



学校だより

伸びゆく子

令和3年4月30日
横浜市立中沢小学校
5月 号

失敗から身につけること

学校長 川又美貴子

新年度が始まり、一か月が過ぎようとしています。さわやかな春の陽気の下、子どもたちは春の生き物や植物をさがしたり、友達と外遊びを楽しんだり、和やかに過ごしている様子がたくさん見られます。4月は、全校でスタートカリキュラムとして新しいクラスでのルールづくりや仲間づくりに取り組みました。新しいクラスで、不安なこともたくさんあったと思いますが、生き生きと活動している子どもたちの姿を見ると、緊張の時期をそれぞれ乗り越えたのかな、と感じています。

さて、1年生は入学式の翌日から自分たちで下校しているのですが、何名かは思っていたように家まで帰れずに困る場面がありました。お友達と話しているうちに曲がりそびれたり、おうちの方との約束の場所がわからなくなってしまったり。そんな時、地域の方や保護者の方、校外委員さんなどが気づいて声をかけ、助けてくださいました。改めて、まちの皆さんに支えられていることを感じました。声をかけてくださった皆様、本当にありがとうございました。

通り慣れればなんてことのない道のりでも、小さい1年生にとっては大変な道のりだったのだと思います。でもこうして、多くの方に助けてもらいながら一つずつ当たり前のようになれるようになっていく、その姿は本当に尊いと思います。きつうまく帰れずに不安な思いをしたお子さんは、二度と同じ思いをしないように、曲がる場所を意識して周りをよく見ながら歩いたり、家の人との約束をきちんと確認してから出かけたり、それぞれが自分なりの対策を考え、身につけたのではないかと思います。

我々大人は、とにかく、失敗しないようにと目の前に転がる小石をどけてあげたくになりますが、小さな失敗やつまずきであれば、子どもたちが自分の力で生きていくためには必要な失敗でもあるでしょう。子どもたちが、失敗やつまずきに自ら立ち向かい、また立ち上がって新たな力を身につけられるように、少し離れて、がまんして、見守っていきたいと思います。

～通学路安全見守りボランティア(学援隊)を募集しています～

毎朝あるいは交代で子どもたちの登校の様子を見守ってくださるボランティアの皆様は、子どもたちとの挨拶やふれあいを心から喜んでくださっており、本当に有難いことと思っています。

一方、朝の見守りの活動は、様々な状況から人手が足りなくなってきたのが現状です。週に1回でも結構です。より多くの皆様に、見守りボランティア(学援隊)のお仲間に加わっていただければと、切に願っております。学援隊の活動の内容やご登録についてのお問い合わせは、中沢小学校 副校長 柴田 (TEL361-5886) までどうぞお気軽にお尋ねください。ご連絡をお待ちしております。